

第887回宮城県教育委員会定例会日程

日 時：平成28年12月16日（金）午後1時30分から

場 所：県行政庁舎16階 教育委員会会議室

1 出席点呼

2 開会宣言

3 第886回教育委員会会議録の承認について

4 第887回教育委員会会議録署名委員の指名

5 教育長報告

（1）平成30年度宮城県立中学校入学者選抜方針及び選抜日程について（高校教育課）

6 専決処分報告

（1）第358回宮城県議会議案に対する意見について（総務課）

7 課長報告等

（1）第5回宮城県教育振興審議会の開催概要について（教育企画室）

（2）平成29年度宮城県立中学校入学者選抜の出願者数について（高校教育課）

（3）平成29年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況（11月末現在）（高校教育課）

（4）平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（宮城県分）
について（スポーツ健康課）

（5）宮城県美術館リニューアル基本構想（中間案）について（生涯学習課）

8 資料（配付のみ）

（1）教育庁関連情報一覧（総務課）

（2）平成30年度（平成29年度実施）宮城県公立学校教員募集案内（教職員課）

（3）平成28年度防災教育を中心とした学校安全フォーラム（スポーツ健康課）

（4）宮城県美術館特別展「ルノワール展」（生涯学習課）

（5）東北歴史博物館特別展「工芸継承」（文化財保護課）

9 次回教育委員会の開催日程について

10 閉会宣言

平成３０年度宮城県立中学校入学者選抜方針及び選抜日程について

I 平成３０年度宮城県立中学校入学者選抜方針

宮城県立中学校における入学者選抜は、中学校及び小学校の教育の目的の実現及び健全な教育の推進を期し、公正かつ適正な選抜方法と選抜尺度により厳正に行うものとする。

1 基本原則

- (1) 県立中学校長は、その教育を受けるに足る多様な能力と適性等を評価し、選抜するものとする。
- (2) 出願事務及び選抜事務の厳正を期するため、小学校にあつては調査書等作成のための委員会を、県立中学校にあつては選抜のための委員会を設置するものとする。

2 選抜方法

- (1) 入学者の選抜に当たって、県立中学校長は、調査書及び適性検査の結果に基づき、出願者の能力や適性等を総合的に審査するものとする。
- (2) 適性検査
 - ア 検査は、総合問題、作文及び面接とする。
 - イ 総合問題は、与えられた課題を理解し、これまでの体験や身に付けてきた力を基に、論理的に考え、的確に判断し、解決する力や表現する力等をみるものとする。
 - ウ 作文は、与えられた課題について、自分の考えや思いなどを的確にまとめ、文章で表現する力をみるものとする。
 - エ 面接は、志願理由書を参考資料として、志願の動機や学習への関心・意欲、長所等を多面的にみるものとする。

II 平成３０年度宮城県立中学校入学者選抜日程

適性検査実施日 平成３０年 １月 ６日（土）

選抜結果通知 平成３０年 １月 12日（金）午後４時発送

第358回宮城県議会議案に対する意見について

第358回宮城県議会（平成28年11月定例会）に提案される下記議案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により知事から意見を求められたので、教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和31年宮城県教育委員会規則第12号）第3条第1項の規定により、平成28年11月17日専決処分し、異議のない旨回答した。

よって同条第2項の規定により報告する。

記

1 予算議案

平成28年度宮城県一般会計補正予算

2 予算外議案

- (1) 学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- (2) 指定管理者の指定について（宮城県宮城野原公園総合運動場（宮城球場及び駐車場以外の施設））
- (3) 指定管理者の指定について（宮城県第二総合運動場（宮城県仙南総合プール及び宮城県長沼ボート場以外の施設））
- (4) 指定管理者の指定について（宮城県仙南総合プール）
- (5) 指定管理者の指定について（宮城県総合運動公園（宮城スタジアム、宮城スタジアム補助競技場、投てき場、総合体育館、総合プール、テニスコート及び合宿所並びにそれらの周辺の公園施設並びに宮城県サッカー場））
- (6) 工事請負契約の締結について（宮城県農業高等学校校舎等災害復旧工事（その六））
- (7) 専決処分の承認を求めることについて（控訴の提起）
- (8) 専決処分の承認を求めることについて（調停案の受諾及び損害賠償の額の決定）

平成28年12月16日提出

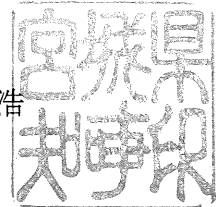
宮城県教育委員会教育長 高橋 仁



財 第 147 号
平成28年11月16日

宮城県教育委員会教育長 殿

宮城県知事 村 井 嘉 浩



第358回宮城県議会議案について（照会）

このことについて、下記議案を提出したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、貴委員会の意見を求めます。

記

- 1 予算議案
平成28年度宮城県一般会計補正予算
- 2 予算外議案
 - (1) 学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
 - (2) 指定管理者の指定について（宮城県宮城野原公園総合運動場（宮城球場及び駐車場以外の施設））
 - (3) 指定管理者の指定について（宮城県第二総合運動場（宮城県仙南総合プール及び宮城県長沼ボート場以外の施設））
 - (4) 指定管理者の指定について（宮城県仙南総合プール）
 - (5) 指定管理者の指定について（宮城県総合運動公園（宮城スタジアム、宮城スタジアム補助競技場、投てき場、総合体育館、総合プール、テニスコート及び合宿所並びにそれらの周辺の公園施設並びに宮城県サッカー場））
 - (6) 工事請負契約の締結について（宮城県農業高等学校校舎等災害復旧工事（その六））
 - (7) 専決処分の承認を求めることについて（控訴の提起）
 - (8) 専決処分の承認を求めることについて（調停案の受諾及び損害賠償の額の決定）



第358回宮城県議会（平成28年11月定例会）提出予算議案の概要
 ～平成28年度11月補正予算の概要（教育庁関係分）～

1 補正予算の概要

単位：千円

平成27年度	平成28年度			比較	
11月現計予算額[A]	現計予算額[B]	11月補正額[C]	計[B+C]=[D]	[D-A]	[D/A]
213,695,693	215,305,141	142,700	215,447,841	1,752,148	100.8%

2 事業の概要

単位：千円

区分	事業概要等	補正額	財源
特別支援学校狭隘化対策	障害児地域教育充実事業	142,700	国庫 16,055 県債 31,700 一財 94,945
	■仙台圏域における特別支援学校狭隘化問題を解消するため、宮城県立利府支援学校塩釜校の設置（既存校舎の改修工事）に要する経費の補正。 【改修対象校】 塩竈市立第二小学校 【開校予定】 平成29年4月		

3 債務負担行為（新規）

単位：千円

区分	事業概要等	期間	限度額
公共施設管理運営業務委託	公立施設管理運営業務委託（宮城県宮城野原公園総合運動場） 宮城野原公園総合運動場の指定管理（H29.4.1～H34.3.31 5年間）に係るもの。 指定管理者：公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団	H28.12～ H34.3 (6カ年)	70,500
	公立施設管理運営業務委託（宮城県第二総合運動場） 第二総合運動場の指定管理（H29.4.1～H34.3.31 5年間）に係るもの。 指定管理者：宮城県スポーツ振興財団・ミズノグループ	H28.12～ H34.3 (6カ年)	283,000
	公立施設管理運営業務委託（宮城県仙南総合プール） 仙南総合プールの指定管理（H29.4.1～H34.3.31 5年間）に係るもの。 指定管理者：セントラルスポーツ株式会社	H28.12～ H34.3 (6カ年)	153,960
	公立施設管理運営業務委託（宮城県総合運動公園） 総合運動公園の指定管理（H29.4.1～H34.3.31 5年間）に係るもの。 指定管理者：宮城県スポーツ振興財団・同和興業・セントラルスポーツグループ	H28.12～ H34.3 (6カ年)	2,780,000
その他	美術館常設展展示関連業務委託 平成29年度の美術館常設展開催に伴い展示作業業務（展示及び撤去作業）について、年度内に契約を締結し、業務完了後に委託料を支払うもの。	H28.12～ H30.3 (2カ年)	1,000

第358回宮城県議会（平成28年11月定例会）提出

予算外議案の概要（教育庁関係分）

議第 282 号議案 学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律等の改正に準じ、所要の改正を行おうとするもの
施行 平成29年1月1日等
所管 教職員課

○主な内容

- 1 介護休暇の分割取得を可能とする規定の整備
連続する6月以内 → 3回以内かつ合計6月以内
- 2 介護に係る勤務時間の短縮措置制度の新設

議第 296 号議案 指定管理者の指定について（宮城県宮城野原公園総合運動場（宮城球場及び駐車場以外の施設））

宮城県宮城野原公園総合運動場（宮城球場及び駐車場以外の施設）の指定管理者を指定することについて、地方自治法の定めるところにより、議会の議決を受けようとするもの
所管 スポーツ健康課

○主な内容

- 1 指定しようとする団体 公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団
- 2 指定の期間 平成29年4月1日～平成34年3月31日

議第 297 号議案

指定管理者の指定について（宮城県第二総合運動場（宮城県仙南総合プール及び宮城県長沼ボート場以外の施設））

宮城県第二総合運動場（宮城県仙南総合プール及び宮城県長沼ボート場以外の施設）の指定管理者を指定することについて、地方自治法の定めるところにより、議会の議決を受けようとするもの

所管 スポーツ健康課

○主な内容

- 1 指定しようとする団体 宮城県スポーツ振興財団・ミズノグループ
- 2 指定の期間 平成29年4月1日～平成34年3月31日

議第 298 号議案

指定管理者の指定について（宮城県仙南総合プール）

宮城県仙南総合プールの指定管理者を指定することについて、地方自治法の定めるところにより、議会の議決を受けようとするもの

所管 スポーツ健康課

○主な内容

- 1 指定しようとする団体 セントラルスポーツ株式会社
- 2 指定の期間 平成29年4月1日～平成34年3月31日

議第 299 号議案

指定管理者の指定について（宮城県総合運動公園（宮城スタジアム，宮城スタジアム補助競技場，投てき場，総合体育館，総合プール，テニスコート及び合宿所並びにそれらの周辺の公園施設並びに宮城県サッカー場））

宮城県総合運動公園（宮城スタジアム，宮城スタジアム補助競技場，投てき場，総合体育館，総合プール，テニスコート及び合宿所並びにそれらの周辺の公園施設並びに宮城県サッカー場）の指定管理者を指定することについて，地方自治法の定めるところにより，議会の議決を受けようとするもの
所管 スポーツ健康課

○主な内容

- 1 指定しようとする団体 宮城県スポーツ振興財団・同和興業・セントラルスポーツグループ
- 2 指定の期間 平成29年4月1日～平成34年3月31日

議第 320 号議案

工事請負契約の締結について（宮城県農業高等学校校舎等災害復旧工事（その6））

請負金額 735,480,000円
契約の相手方 奥田建設株式会社
所管 施設整備課

- 施工地名 名取市高館吉田地内
- 工事内容 畜産実習棟 S造2階建
延床面積 441 m²
畜舎 S造平家
延床面積 1,023 m²（3棟） 外
- 工期 議決の日の翌日～平成30年1月12日

議第 335 号議案

専決処分の承認を求めることについて（控訴の提起）

石巻市立大川小学校における児童の津波被害に関する損害賠償請求事件に係る控訴の提起について、平成28年11月4日専決処分したので、その承認を求めようとするもの
所管 教職員課

○主な内容

- 1 控訴の相手方
29名
- 2 控訴の趣旨
 - (1) 原判決中、控訴人石巻市及び県の敗訴部分を取り消す
 - (2) 相手方の請求を棄却する
 - (3) 訴訟費用は第1、第2審とも相手方の負担とする

議第 336 号議案

専決処分の承認を求めることについて（調停案の受諾及び損害賠償の額の決定）

損害賠償請求調停事件について、仙台簡易裁判所から提示のあった調停案の受諾及び損害賠償の額の決定に関し、平成28年11月2日専決処分したので、その承認を求めようとするもの
所管 教育庁総務課

○調停案の内容

県及び元職員は、申立人に対し、連帯して、本件解決金として200万円の支払義務があることを認める

第５回宮城県教育振興審議会の開催概要について

1 開催日時

平成 28 年 11 月 18 日（金）午後 1 時 30 分から午後 3 時 32 分まで

2 開催場所

宮城県行政庁舎 4 階 特別会議室

3 出席者

別添出席者名簿のとおり（16 名出席）

4 内 容

（１）議 事

- ・ 第 2 期宮城県教育振興基本計画（中間案②）について

5 主な意見

（１）第 4 章 施策の展開

【基本方向 6：郷土を愛する心と社会に貢献する力の育成】に関する意見

- ・ 「(3)宮城の将来を担う人づくり」において、地域の産業界のニーズを踏まえ、地域産業の発展を支える専門的職業人を育成することは、非常に重要なポイントであるので、ぜひ実行してほしい。また、このことに関する目標指標を検討願いたい。（山田委員）
- ・ 地域の伝統・文化の尊重と、郷土を愛する心という部分に関して、しっかりと反映するような目標指標を設定するべきではないか。（川島副会長）
- ・ 目標指標として、ボランティアや奉仕活動への取組に関する指標を入れてはどうか。（木村委員）

【基本方向 7：命を守る力と共に支え合う心の育成】に関する意見

- ・ 方向性について、E S D（持続可能な発展に関わる教育）に関する記述を追記してはどうか。記述があることで、このような視点に立って教育していくということが明確になると考える。（瀬野尾委員）
- ・ 「(2)地域と連携した防災・安全体制の確立」において、学校の先生方と地域を結ぶ存在が無いと、お互いに思いがあってもつながらないので、コーディネーターの育成が必要だと感じている。（増田委員）

- ・ 特別支援学校の防災に関する研究を進めているが、地域の行政機関や小・中学校との連携は難しいといった結果がある。どこに位置付けたらよいのかも含め、特別支援学校が含まれていることが分かるような記述があるとよい。(村上委員)

【基本方向 8：安心して学べる教育環境づくり】に関する意見

- ・ 「魅力ある学校」や「行きたくなる学校」について考えると、基本方向の名称として「安心して学べる教育環境づくり」は弱い感じがする。例えば「安心して楽しく学べる教育環境づくり」など、名称を検討願いたい。(木村委員)
- ・ 組織体制として「チーム学校」という大きな枠組みがあるので、「外部の資源を有効に活用することで教職員が業務に専念できる」という記述が入るとよいのではないかと。(高橋委員)
- ・ 「(1)教職員の資質能力の総合的な向上」において、学校におけるOJTはとても大事だが、学校から離れて、自分の専門教科を支える学術的な知識を獲得できるような研修体制についても検討願いたい。(村上委員)
- ・ OJTの一つとして、例えば自分で行き先や研修内容を決める研修など、座学以外にも検討願いたい。また、授業実践を伴う研修会など、授業を通してお互いの力量を磨く研修を各地域が行えるように支援願いたい。(瀬野尾委員)
- ・ 「(2)教職員を支える環境づくりの推進」において、教員の残業時間のようなものをきちんと測定しデータを集め、それを減らすといったことを努力目標として設定すべきではないかと思う。(川島副会長)
- ・ 専門スタッフによる支援に加えて、学習支援の先生方についても明記すると非常に学校は助かると思う。(丸山委員)
- ・ 先生方が自信を持てるような教育セミナーなど、自己肯定感を高めていく、プラスの思考ができるような支援の体制ができるとよい。(平川会長)
- ・ 「(3)学びのセーフティネットの構築に向けた学習環境の整備充実」において、学び支援コーディネーターの配置を目標指標に設定してはどうか。(川島副会長)
- ・ 「(4)開かれた魅力ある学校づくりの推進」において、今一番大変なのは、保護者との関係性だと思う。「開かれた学校づくり」が先生方の環境づくりに本当に大きな意味があるということが、記述としてあるとよいのではないかと。(増田委員)

【基本方向9：家庭・地域・学校が連携・協働して子供を育てる環境づくり】に関する意見

- ・ 思春期の子供たちに対する支え方について、NPOが宮城県にたくさん入ってきている前提を踏まえ、中・高校生に対する斜めの関係を充実させ続けていく仕組みや、青少年向けのサードスペースなどを考えていくべきではないか。(今村委員)
- ・ 「(1)家庭の教育力を支える環境づくり」において、「子育てサポーター」や「家庭教育支援員」、「学び支援コーディネーター」などの位置付けがもう少し分かりやすくなればよい。(川向委員)
- ・ 「(2)地域と学校の新たな連携・協働体制の推進」において、コミュニティ・スクールの具体的な推進方法を示してはどうか。また、コミュニティ・スクールに関する目標指標を設定してはどうか。(伊藤委員)
- ・ 「(3)子供たちが安全で安心できる環境づくり」において、携帯・スマートフォンの所持率がかなり高くなっているが、県として利便性を考えて有効に利用することを考えているのか、それとも危険だと考えているのか。(橘委員)
- ・ 家庭の中で子供だけで居る時間が長い家庭ほど、教育力が低下するといった現状があると思うので、「放課後子供教室」や各種の教育支援が、家庭にいかに関係があるかということを示すことができないか。(川向委員)

(2) 第5章 計画の推進

- ・ 教育予算を基本的に見直していかないといけない。目指す姿に向かうための一番の原点がそこにあると思う。(伊藤委員)

第5回宮城県教育振興審議会 出席者名簿

(五十音順)

所 属	氏 名	備考
有限会社伊豆沼農産代表取締役	いとう ひでお 伊藤 秀雄	
認定NPO法人カタリバ代表理事	いまむら くみ 今村 久美	
宮城県高等学校長協会会長 (宮城県仙台第一高等学校長)	かとう じゅんいち 加藤 順一	
国立大学法人東北大学加齢医学研究所所長	かわしま りゅうた 川島 隆太	
宮城県高等学校PTA連合会役員 (宮城県古川黎明高等学校PTA役員)	かわむかい まみ 川向 真美	
耕人塾塾長 (学校法人石巻専修大学教授)	きむら たみお 木村 民男	
仙台市中学校長会会長 (仙台市立東仙台中学校長)	くまがい まさひろ 熊谷 祐彦	欠席
宮城県市町村教育委員会協議会委員 (松島町教育委員会委員)	せのお ちえ 瀬野尾 千恵	
NPO法人Switch理事長	たかはし ゆか 高橋 由佳	
有限会社岩沼屋ホテル専務取締役	たちばな まきこ 橘 真紀子	
学校法人宮城学院女子大学長	ひらかわ あらた 平川 新	
気仙沼市家庭教育推進協議会長	ほし みほ 星 美保	欠席
国立大学法人東北大学大学院教授	ほりた たつや 堀田 龍也	欠席
前宮城県PTA連合会副会長 (前富谷町立成田中学校PTA会長)	ますだ えみこ 増田 恵美子	
宮城県私立中学高等学校連合会会長 (学校法人常盤木学園理事長)	まつら ちひろ 松良 千廣	
宮城県小学校長会副会長 (大河原町立大河原小学校長)	まるやま ちかこ 丸山 千佳子	
国立大学法人宮城教育大学大学院教授 (前宮城教育大学附属特別支援教育総合研究センター長)	むらかみ よしのり 村上 由則	
宮城県私立幼稚園連合会理事長 (学校法人村山学園・学校法人おおとり学園理事長)	むらやま とうご 村山 十五	
NPO法人宮城県レクリエーション協会事務局長	やまうち なおこ 山内 直子	欠席
東北電子産業株式会社代表取締役社長	やまだ りえ 山田 理恵	

第5回宮城県教育振興審議会 事務局出席者名簿

所属	職	氏 名	備考
教育庁	教育長	高 橋 仁	
〃	教育次長	西 村 晃 一	
〃	参事兼総務課長	志子田 伸一	
〃	教育企画室長	伊 藤 正 弘	
〃	福利課副参事兼課長補佐(総括担当)	沼倉 富美雄	
〃	教職員課長	山 本 剛	
〃	参事兼義務教育課長	清元 けい子	
〃	特別支援教育室長	門 脇 恵	
〃	高校教育課長	岡 邦 広	
〃	参事兼施設整備課長	横山 生次郎	
〃	スポーツ健康課スポーツ振興専門監	小 幡 佳 彦	
〃	全国高校総体推進室長	鎌 田 直 人	
〃	生涯学習課長	新 妻 直 樹	
〃	全国高校総合文化祭推進室副参事兼室長補佐(総括担当)	木 村 直 哉	
〃	技術参事兼文化財保護課長	山 田 晃 弘	
総務部	参事兼私学文書課長	中村 今日子	
保健福祉部	子育て支援課長	志 賀 慎 治	

平成２９年度宮城県立中学校入学者選抜の出願者数について

1 出願期間 平成２８年１２月５日（月）～１２月９日（金）午後３時

2 募集定員 各校１０５人（男女）

3 出願者数及び出願倍率

校名	募集定員	出願者数	出願倍率
宮城県仙台二華中学校	１０５人（男女）	４３０人 （男 １７５人，女 ２５５人）	４．１０倍
宮城県古川黎明中学校	１０５人（男女）	２３１人 （男 ８６人，女 １４５人）	２．２０倍

4 適性検査

(1) 実施日 平成２９年１月７日（土）午前８時３０分～

(2) 会場 ○ 宮城県仙台二華中学校・高等学校
○ 宮城県古川黎明中学校・高等学校

(3) 内容 総合問題，作文，面接

(4) 結果通知 平成２９年１月１３日（金）午後４時発送

<参考>

平成２８年度宮城県立中学校入学者選抜の出願者数

校名	募集定員	出願者数	出願倍率
宮城県仙台二華中学校	１０５人（男女）	４８６人 （男 ２２０人，女 ２６６人）	４．６３倍
宮城県古川黎明中学校	１０５人（男女）	２３９人 （男 ８８人，女 １５１人）	２．２８倍

平成29年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況(11月末現在)

	H28.3月末	H28.7月末	H28.8月末	H28.9月末	H28.10月末	H28.11月末	前年同月	増減 (当月-前年 同月)
内定率	99.0%	—	—	46.4%	68.8%	85.8%	84.1%	1.7%
男子	99.3%	—	—	48.5%	72.1%	88.6%	85.3%	3.3%
女子	98.6%	—	—	43.8%	64.6%	82.2%	82.4%	-0.2%
全国平均	97.7%	—	—	—	—	—	—	—

内訳

卒業予定者	19,753	20,135	20,125	20,112	20,088	20,046	19,808	238
進学希望者	14,706	14,910	14,952	14,972	15,071	15,077	14,761	316
臨時的仕事希望者	192	32	32	41	51	88	91	-3
進路未定者	48	180	171	158	125	107	90	17
就職希望者	4,807	5,013	4,970	4,941	4,841	4,774	4,866	-92
内訳	県内	3,895	4,407	4,234	4,174	4,031	3,986	-61
	県外	912	606	736	767	810	880	-31
	職安・学校紹介	4,209	4,194	4,092	4,037	4,123	4,227	-106
	縁故・自営	235	122	173	188	207	192	22
	公務員	363	697	705	716	511	447	-8
就職内定者	4,760	—	—	2,295	3,331	4,097	4,091	6
内訳	県内	3,854	—	—	1,776	2,631	3,301	20
	県外	906	—	—	519	700	796	-14
	職安・学校紹介	4,178	—	—	2,221	3,165	3,643	-67
	縁故・自営	232	—	—	65	96	133	17
	公務員	350	—	—	9	70	321	56
就職未内定者	47	—	—	2,646	1,510	677	775	-98
月間受験者数	70	—	—	3,933	824	563	695	-132

【11月末概況】※()内は前年同月

- ① 就職内定率 : 85.8% (84.1%)
- ② 進路希望の割合状況 : 進学 75.2% (74.5%) 就職 23.8% (24.6%)
臨時的仕事 0.4% (0.5%) 未定 0.5% (0.5%)
- ③ 就職希望者の割合 : 県内 82.2% (81.9%) 県外 17.8% (18.1%)
- ④ 県内外の内定率 : 県内 84.1% (82.3%) 県外 93.8% (92.0%)
- ⑤ 内定者の割合 : 県内 80.6% (80.2%) 県外 19.4% (19.8%)
- ⑥ 学科別内定率

学科別内定率	普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	福祉科	その他	総合学科
平成28年度	80.9%	89.2%	96.5%	84.3%	81.0%	76.4%	66.7%	73.5%	87.7%
平成27年度	77.0%	85.5%	93.5%	86.8%	81.3%	84.3%	70.0%	79.5%	89.0%

⑦地域別内定状況

地域別内定率	仙台	大和	石巻	塩釜	古川	大河原	白石	築館	迫	気仙沼
平成28年度	83.5%	92.5%	80.5%	83.8%	90.7%	82.2%	95.6%	86.1%	93.5%	88.4%
平成27年度	80.6%	92.0%	79.0%	77.3%	89.5%	83.4%	93.4%	89.3%	88.9%	89.5%

⑧宮城労働局発表 県内求人倍率(10月末現在)(職安学校紹介のみ、ただし支援学校・通信制含む)

	23年3月卒	24年3月卒	25年3月卒	26年3月卒	27年3月卒	28年3月卒	29年3月卒
県内求人数	3,096	3,766	6,074	7,204	8,825	9,239	9,671
県内求職者数	3,836	3,114	3,504	3,520	3,458	3,469	3,403
求人倍率	0.81	1.21	1.73	2.05	2.55	2.66	2.84

宮城県美術館リニューアル基本構想（中間案）について

1 経緯

宮城県美術館（以下「美術館」という。）は昭和56年の開館以来35年が経過し、施設設備の劣化、老朽化への対応とともに、美術館の在り方や諸機能においても、建設当時とは異なる社会的要請や環境の変化への対応が求められている。

これらの課題に対応するためには、美術館としての中・長期的な展望のもとに、美術館に求められる今日的な役割や機能を改めて考察し、美術館としての魅力向上などのソフト面と利便性向上などのハード面からのリニューアルの検討の必要性が高まっている。

そこで、平成27年5月1日、有識者等8名による「宮城県美術館リニューアル基本構想策定に係る懇話会（以下「懇話会」という。）」を設置し、広く有識者の専門的な意見を聴取するとともに、今後の美術館のあり方について、平成28年度末までに「宮城県美術館リニューアル基本構想（以下「基本構想」という）」を策定することとしている。

2 基本構想策定までのプロセス

【平成27年度】

◆ 美術館の現状と課題の把握

（懇話会を4回開催。「施設・設備」「展示事業」「教育普及事業」「魅力向上」の分野ごとに現状と課題に関する意見を聴取。）

【平成28年度】

<スケジュール>

H28.	4月～7月	生涯学習課及び美術館における調査・分析及び今後のあり方に関する内部検討
H28.	11月 8日	懇話会（第5回）：基本構想（案）の検討
	12月14日	懇話会（第6回）：基本構想（中間案）の検討
	12月下旬～	パブリックコメント（～1月下旬）
H29.	2月 2日	懇話会（第7回）：基本構想（最終案）の検討
	3月中旬	基本構想策定

3 基本構想（中間案）の概要 別紙のとおり

4 基本構想策定以降のスケジュール（予定）

H29年度	基本方針の策定（具体的な改修内容の検討）
H30年度	大規模事業評価、事業手法の検討、基本設計・実施設計、
～	改修工事
H36年度	リニューアルオープン

宮城県美術館リニューアル基本構想策定に係る懇話会委員名簿

(五十音順, 敬称略)

No.	委員氏名	所属・役職等	備考
1	泉 武 夫	東北大学大学院文学研究科教授	
2	大 場 尚 文	宮城県芸術協会理事長	副座長
3	小野田 泰 明	東北大学大学院工学研究科教授	
4	佐々木 吉 晴	いわき市立美術館長	座 長
5	高 山 登	宮城大学理事	
6	竹 内 美恵子	第17次宮城県美術館協議会委員	
7	中 村 政 人	アーツ千代田 3331 統括ディレクター	
8	吉 川 由 美	有限会社ダ・ハプランニング・ワーク 代表取締役	
任 期 平成27年5月1日から平成29年3月31日まで			

はじめに

- 1980年代に提唱された「開かれた」総合美術センター的性格を持つアートミュージアムの理念をリニューアルを機に次のように再構築した。
 - (1) コレクションと教育普及プログラムの連携により、20世紀美術における表現形式、素材、技法等の革新を踏まえながら、現代にまで及び美術の多様性を体感できるようにする。
 - (2) 次世代を担う子どもたちを対象にした「遊び」と「学び」の場となる施設とプログラムを充実し、家族連れの来訪など大人にも美術の豊かさや楽しさを感じ取る機会を提供する。
 - (3) 美術館を取り巻く豊かな自然やアクセスのしやすさを生かして、サードプレイス^(※)としての美術館を念頭に、特別展に大きく依存した美術館から日常的に利用される美術館への脱皮を図る。^{(※)サードプレイス=自宅や職場と隔絶した創造的な交流の場}
- 東日本大震災からの復興は、物質的な復興にとどまらず、未来を展望する勁く豊かな心を育むことであり、美術はその一助となることから、美術館のリニューアルに当たってはそのことを強く意識し、心の復興の一端を担う集いの場ともなるべく検討を重ねた。

第1章 リニューアルの背景

<p>1 美術館の歩み</p> <ul style="list-style-type: none"> ■昭和56年11月に「博物館法」に基づく登録博物館として設置された。 ■「東北の美術館」として国内外の優れた作品を収集、展示して鑑賞の機会を提供してきた。 ■活発な教育普及活動を推進し地域における総合美術センターとしての役割を担ってきた。 ■35年が経過し、県美術館のこれまで担ってきた役割は見直しが必要となった。 ■美術に関する県民の関心や期待が多様化し、県民ニーズへの対応が難しい状況になりつつある。 	<p>2 美術館を巡る状況</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 国及び県の文化芸術政策 イ 文化芸術の社会的重要性が明確に認識されるに至った。 (2) 文化芸術を取り巻く社会状況の変化 イ 東北各県にも県立美術館が設置された（山形県を除く）。 ロ 県民の美術活動を行う機会が開館時に比べ充実している。 ニ 公共施設には人にやさしい環境整備が求められている。 <p>□ 学校教育における図工・美術の授業時数は減少傾向にある。</p> <p>小6：昭和22年度 週2時間→平成14年度 週1.4時間 中3：昭和22年度 週2時間→平成14年度 週1時間</p> <p>ハ 美術の表現手法やあり方は拡大、多様化している。 ホ 東日本大震災で被災した県民の心の復興が急務となっている。</p>
<p>3 美術館の強み</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 良好な立地条件と合理性のある建築物（仙台都心部からアクセス至便、管理しやすい建築物） (2) 開館以来、35年間の活動の蓄積（創作活動支援や教育プログラムの提供） (3) 充実したコレクション（本県ゆかりの作家の作品等、国内外の優れた美術作品約6,800点を所蔵） (4) 「いつでも、だれでも」利用できるアトリエの設置 	<p>4 現状と課題</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 収集成果を反映した展示環境の充実 (3) 国際的基準を満たす展示環境の整備 (5) 収蔵庫の狭隘化 充足率：本館：142.5% 記念館：124.5% (7) 建物・設備の全面的な改修 極めて深刻な老朽化が見られ、一刻の猶予もならない緊急的課題 <ol style="list-style-type: none"> (2) コレクションを有効活用するための展示室の整備 (4) 美術品に係るセキュリティ及び防災機能の充実 (6) 近年の利用者ニーズに対応した教育普及機能・活動の充実 (8) アメニティの充実 (9) 国内外の動向に呼応した施設機能の整備

第2章 これからの宮城県美術館が目指す方向性

1 宮城県美術館が果たすべき役割

- 基本的性格：「開かれた」総合美術センター的性格をも兼ね備えた美術館
- 設置の趣旨：多角的機能を持つ総合美術センターの役割を果たす施設

継承

●時代の変化により新たに生まれた県民ニーズへの対応

●総合美術センターとして現在期待される美術館の機能と役割に的確に対応

●県社会教育施設として創造的復興や地方創生総合戦略との整合性に留意

新たな課題やニーズに対応

2 宮城県美術館運営の基本方針

- 優れた美術作品を収集、展示して、広く県民に鑑賞の機会を提供する。
- 県民の積極的参加による創作活動の推進を図る。
- 美術に関するさまざまな体験交流の場となるよう、活発な普及活動を行う。
- 美術に関連する他の領域と連携して、文化的諸活動を行う。

継承

3 リニューアルに向けた基本的な考え方

- (1) 持てる財産・資源を最大限に有効活用
 - ・良好な立地条件と合理性のある建築設計を活かして現地改修を基本に検討を行う。
- (2) 他館・文化施設等との連携及び機能分担の検討
 - ・他施設との連携や機能の棲み分けを行い、県美術館の果たすべき役割・機能の再検討を行う。
- (3) 県民及び利用者からの意見の反映
 - ・リニューアルの検討過程について、県民や利用者積極的に情報提供し、意見・要望等を聴取しながらリニューアルの方向性を検討していく。

4 リニューアルのコンセプト

展示、収蔵、調査研究、教育普及など現美術館の基本機能を一層強化 + **新たな機能や魅力の創出**

- (1) 子どもたちに豊かな体験を提供する美術館
次代を担う子どもたちが、美術を身近なものとして捉え、美術に触れる機会を確保し、美術を楽しむきっかけづくりの場を提供する。
⇒ **子どもたちの豊かな感性や創造性、知的好奇心を育む活動拠点＝「キッズ・ラボ（仮称）」を設置**
- (2) 人々が憩い、くつろぎ、集い、つながる美術館
来館者が質の高い芸術文化に触れ、その余韻を楽しみながら、ゆっくりとくつろぐことができる空間を提供する。
⇒ **美術館所有のコレクション等を活用したラウンジの整備、国が推進する「ゆう活」に連動し、夏季期間における開館時間を延長**
- (3) 国内外の人々を魅了する美術館
美術館が有する資源を積極的に活用し、芸術文化の側面から地域活性化や観光振興など本県経済の発展に貢献する。
⇒ **美術館を魅力ある観光資源と位置づけ、国際会議開催等におけるセミナー、レセプション会場としての利用ニーズを喚起**
- (4) ともに築きあふ美術館
新たな時代環境に即した「開かれた美術館」として県民とともに築きあい、発展し、そして親しまれる美術館を目指した業務運営を行う。
⇒ **報道機関やボランティアなど外部人材との連携、協力することとし、ボランティア等がより活発に活動できる拠点を整備**

美術を楽しむきっかけづくりの場

上質なくつろぎの空間

国内外からの誘客促進に貢献

ボランティア等との連携強化

第3章 宮城県美術館に求められる機能と役割

- 1 収集・展示：
 - ①美術作品の継続的・計画的な収集を行うことにより、体系的な常設展示ができるよう、コレクションを一層充実
 - ②展示環境の整備・充実（十分な展示室面積の確保、作品の特性に応じた専用スペース及び自在性のある汎用スペースの確保等）
 - ③展示・収蔵環境条件の高度化（24時間空調システム等の整備、調光機能のついた照明機器の設置、一時保管収蔵庫の設置等）
- 2 収蔵：コレクションの充実に対応した収蔵スペース及びセキュリティ機能の確保、作品素材や形状など所蔵品の特性に応じた保存環境の整備
- 3 調査研究：基礎的な調査研究の継続及び調査研究成果の発信
- 4 教育普及：
 - ①開館当初から実施してきた各種教育普及プログラムや「いつでも、だれでも」利用できるオープン・アトリエの機能を充実
 - ②個展やグループ展など、県民の創作活動の発表及び観賞の場を提供
- 5 五感で楽しみ、心の潤いと交流が生まれる場：宮城県美術館のコレクションや図書を有効に活用したラウンジの整備等
- 6 ユニバーサルデザイン化や地球環境への配慮：①誰もが公平に美術館の楽しさや享受できるように、施設や設備等を充実
②屋上太陽光発電設備や地中熱ヒートポンプの導入等により環境負荷を低減
- 7 情報発信の充実・強化：県美術館の収蔵作品や地元芸術家の創作活動状況をはじめとする関連情報の集積と発信
- 8 地方創生への貢献：県内企業等との連携を強化、美術館のポテンシャルを有効に活用しインバウンドを呼び込むことにより地域経済を活性化

第4章 本構想の実現に向けて

- 1 施設整備の手法
 - 現地改修を基本に検討
 - 立地条件・周辺環境の優位性や建築物としての合理性・価値の高さに加えコスト面も総合的に勘案
- 2 事業手法等
 - 維持管理業務を外部委託する従来方式のほか、指定管理方式やPFI方式、コンセッション方式などについてメリット・デメリットを検証し最適手法を選択
 - 企業協賛、ネーミングライツ、などによる資金調達の手法を検討
- 3 スタッフの充実
 - 学芸員の資質能力の向上と企画・マーケティングの専門職員を配置
 - ボランティアなど外部人材との連携を担うコーディネータ的スタッフを配置
- 4 本構想策定後のプロセス
 - 具体的改修内容及び運営方針・運営体制を検討し、基本方針を策定
 - 設計・施工者は、外部有識者を加えた委員会等により公募方式により選定
 - 平成36年度のリニューアルオープンを目指す。

おわりに

- 本構想は、美術館が開館した昭和56年から今日までの歩みを振り返りつつ、さまざまな状況の変化を踏まえ、リニューアルに向けて目指すべき姿を形にしたもの。
- 県民等の期待に応え、これからの時代にふさわしい、よりよい美術館になるようリニューアルに当たって、以下3点を目標に掲げる。
 - (1) これまで以上にさまざまな人・情報・資源が集まり、交わり、繋がり、広がる芸術文化の拠点として生まれ変わる。
 - (2) 次代を担う子どもたちが、幼い頃から美術に親しみ、楽しむことを通して、豊かな創造性や感性、自己表現力を育めるよう全力でサポートする。また、大人にも美術の豊かさや楽しさを感じ取る機会を提供する。
 - (3) 芸術文化の力を生かし、東日本大震災からの県民の心の復興と宮城県の創造的復興に寄与する。
- 県民をはじめとした多くの方々と本構想を共有し、その実現を目指す。

○熊本長期派遣教員の帰任報告会を開催

熊本地震の被災校で支援に当たってきた遠藤幸養護教諭が支援活動を終え、帰任したことから、その労をねぎらう帰任報告会を開催した。

【概要】

開催日 平成28年11月16日（水）

場 所 教育長室

帰任職員 南三陸町立志津川中学校 養護教諭 遠藤 幸

派遣先 熊本県御船町立小坂(おざか)小学校

派遣期間 平成28年6月6日（月）から平成28年10月31日（月）まで
主な支援活動

東日本大震災の経験を活かし、生活環境の変化に加え余震や慣れない仮設校舎での学習によって不安を抱える児童の心のケアや学習支援を現地教員と連携して行うほか、現地教員へのアドバイス等に従事しました。

その他 現在も仲松晃主幹教諭（南三陸町立志津川小学校）が御船町立

滝尾小学校に、吉本有希養護教諭（登米市立石越中学校）

が同町立小坂小学校に派遣されている。



(担当：教職員課)

3

○「高校生ものづくりコンテスト」宮城県大会木材部門を開催

高校生の「ものづくり」への興味・関心を喚起し、技能・技術の向上を図るとともに、県民のものづくりへの関心を高め、技術・技能尊重の社会的気運を高めることを目的に「高校生ものづくりコンテスト」宮城県大会木材加工部門を開催した。

【概要】

日 程 平成28年11月19日（土）

会 場 宮城職業能力開発促進センター多賀城実習場

協議内容 支給された材料で小屋組を2時間30分以内に製作し、加工が終了した時点で一次審査、作品完成・提出後に二次審査を実施

参 加 校 仙台市立仙台工業高等学校(全日制)、仙台市立仙台工業高等学校(定時制)、白石工業高等学校、古川工業高等学校、石巻工業高等学校、県工業高等学校

結 果 第1位 成田 康汰朗 【仙台工業高等学校(定時制)】

第2位 栗野 結衣 【古川工業高等学校】

第3位 高橋 裕明 【仙台工業高等学校(定時制)】



(担当：高校教育課)

4

○多賀城高校の生徒とオリンピックアンによる被災地視察を実施

公益財団法人日本オリンピック委員会が主催するオリンピックデスター・フェスタ in 多賀城の開催にあわせて行われるオリンピックアンによる被災地視察において、多賀城高校の生徒がオリンピックアンと多賀城市内を巡りながら被災当時の状況等について説明を行い、ディスカッションを通して交流を図った。

【概要】

日時・場所 平成28年11月19日（土）

○オリンピックデスター・フェスタ 10:00～13:00
多賀城市総合体育館（市内小学生と保護者 約100名）

○被災地視察 14:00～15:30

- ・多賀城高校災害科学科の紹介
- ・オリンピックアンとのグループディスカッション
- ・被災地巡り“まち歩き”（イオン多賀城～末の松山）

※ 本事業における「高校生とオリンピックアンによる被災地視察」は、県内外でも初めての取組となる。



（担当：スポーツ健康課）

○東北福祉大学と宮城県教育委員会が包括連携協力協定等を締結

東北福祉大学と県教育委員会が共に連携を図っていくことを目的に、2つの協力協定を締結した。

【概要】

日時 平成28年11月21日（月） 午後2時から

場所 東北福祉大学仙台駅東口キャンパス

協定名 ①包括連携協力協定（県内7校目）

学校教育や学術の振興及び地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。

②高大連携特別授業の公開に係る協定（県内16校目）

高校生に東北福祉大学が公開する特別授業を受講させることや図書館等の施設の利用を認めることで、大学の教育・研究に触れる機会を提供し、高校教育と大学教育の円滑な接続・連携を図ることを目的とする。



（担当：教職員課・高校教育課）

○「宮城県教育委員会と宮城県PTA連合会との意見交換会」を開催

県内の小中学校が抱える諸課題について意見を交換し、いじめ根絶に連携・協働して取り組むことを「共同アピール」として取りまとめるとともに、部活動についての新しいガイドライン作成を確認した。

【概要】

開催日時 平成28年11月21日（月）午後4時から午後6時まで

開催場所 教育庁会議室

内 容 ○「いじめ・不登校問題」について

○「部活動」について

参加者 教育長，教育次長，教育監兼教育次長，教育庁関係課室長等 計21名
県P連会長ほか，常任委員会役員 計10名

※ 県教委と県P連の幹部が一堂に会し意見交換を行うのは、県として初めての取組である。



(担当：生涯学習課)

○「世界津波の日」高校生サミット 宮城スタディツアー

高知県黒潮町において開催された「世界津波の日」高校生サミット in 黒潮の事前プログラムとして、東日本大震災の被災地である本県が海外高校生を招聘し、県内高校生との交流を通して被災地での取組や活動について理解を深め、各国における防災教育、防災体制の発展に資することを目的に「宮城スタディツアー」を実施した。

【概要】

期 日 平成28年11月23日(水)、24日(木)

場 所 (視 察) 石巻市、東松島市、多賀城市、女川町、七ヶ浜町、南三陸町
(歓迎レセプション・交流会) 石巻グランドホテル

参加者 海外招聘者 153名 (高校生120名 引率18名 通訳・添乗員15名)

【中国、アメリカ、インド、イタリヤ、ケニア、スリランカ、フィジー、モルディブ、シカゴ、パラオ、韓国、カボベルデ、タイ、フィリピン、ポルトガル】16ヶ国

県内高校生 43名 (高校生サミット参加校及び石巻地区公立高校)

仙台一高 気仙沼高 古川黎明高 多賀城高 石巻高 石巻好文館高 石巻西高

石巻工業高 石巻商業高 石巻北高 宮城水産高 東松島高 石巻市立桜坂高

主な内容

(11月23日) 被災地視察

4コースに分かれ、多賀城高校、志津川高校、石巻西高校、石巻高校の生徒の案内で、被災地の現状と復興の様子を視察した。

(11月24日) 県内高校生との交流会

○「防災クロスロード」演習 講師：わしん倶楽部 田中 勢子 氏

○グループディスカッション

被災地視察の感想、日頃の高校生活、災害当手を振り返って、今後の防災の在り方について高校生としてできること等を英語で話し合った。

○昼食交流

「世界津波の日」高校生サミット in 黒潮

期 日 平成28年11月25日(金) 26日(土)

場 所 高知県黒潮町

主な内容

県内から仙台一高、気仙沼高、古川黎明高、志津川高、多賀城高の5校14名が参加、また、「被災地からの報告」として、石巻高校の雁部那由多さん、津田穂乃果さん、石巻西高校の相澤朱音さんの3名が発表した。



(担当：スポーツ健康課)

○平成28年度「防災教育を中心とした学校安全フォーラム」

東日本大震災の教訓を踏まえ、各学校園における防災教育副読本等を活用した防災教育の充実と地域と連携した防災管理体制の整備を進めるとともに、生活安全教育や交通安全教育の重要性も認識し、児童生徒の安全・安心を守るための教職員研修等一層の充実を図るため、「防災教育を中心とした学校安全フォーラム」を開催した。

【概要】

期 日 平成28年11月24日（木）

場 所 東京エレクトロンホール宮城

主 催 宮城県教育委員会

東北大学災害科学国際研究所防災教育国際協働センター

参加者数 教職員（安全担当主幹教諭，防災主任等），P T A，大学関係者等 約700名

9

主な内容

○世界各国との防災交流中継

「世界津波の日高校生サミット宮城県交流会」及び「インドネシア・アチエ津波博物館」

○特別講演

「教科学習につながりを持ちませ学校を地域に開くカナメとして防災教育をデザインする」

熊本大学大学院教授・教授システム学専攻長 鈴木克明氏

○学校安全実践発表

・セーフティプロモーションスクール認証による

学校安全体制構築を目指して（石巻市立鮎川小学校）

・地域と連携して取り組む学校安全体制の構築（大崎市立岩出山小学校）

○「震災から5年，未来へつなぐ防災教育を考える」校種別分科会

・宮城県，仙台市，岩手県，福島県，千葉県からの実践発表

・パネルディスカッション

○特別合唱「わせねでや」（宮城県仙台南高等学校音楽部合唱団）

○防災教育・安全教育関連団体・企業による展示発表



(担当：スポーツ健康課)

○クイーンズ駅伝in宮城 第36回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会開催

平成23年から本県で開催されているクイーンズ駅伝が11月27日（日）に開催された。

【概要】

大会名 クイーンズ駅伝in宮城 第36回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会
主催 日本実業団陸上競技連合
共催 毎日新聞社, TBSテレビ, 宮城県, 宮城県教育委員会, 仙台市, 塩竈市,
塩竈市教育委員会, 多賀城市, 多賀城市教育委員会, 松島町, 松島町教育委員会,
利府町, 利府町教育委員会
期 日 平成28年11月27日（日）
コース 松島町文化観光交流館前をスタートし仙台市陸上競技場がゴールとなる42.195km
参加 22チーム
結果 1位：日本郵政グループ, 2位：第一生命グループ, 3位：ヤマダ電機



(担当：スポーツ健康課)

○保原彩夏選手（聖ウルスラ学院英智高校3年）が知事表敬

スペインで開催された世界ジュニアバドミントン選手権大会女子ダブルスにおいて、日本勢初となる優勝を成し遂げられた聖ウルスラ学院英智高等学校3年の保原彩夏選手並びに関係者が、その報告のため11月28日（月）に県を表敬訪問した。

11

【概要】

大会名 2016年世界ジュニアバドミントン選手権大会
日程 平成28年11月2日（水）～平成28年11月13日（日）
会場 スペイン ビルバオ市



(担当：スポーツ健康課)

○台湾（台南）訪日教育旅行招請事業で来県した台南市台日友好交流協合理事長等が宮城第一高等学校を交流訪問

宮城県観光連盟と「教育旅行に関する覚書」を締結している台南市台日友好交流協会の郭理事長等8名の訪問団が、科学人材育成事業により台湾に教職員と生徒を派遣する予定の宮城第一高等学校に視察訪問を行い、これまでの活動を収めたDVD鑑賞や意見交換等を通じて交流を深めました。

1 2 【概要】

日程 平成28年11月30日（水）

会場 宮城第一高等学校

視察者 台南市台日友好交流協会 郭理事長、台南市高級中学校長等 8名

内容 高橋教育長、郭理事長あいさつ。台南一中・宮城第一高校交流DVD放映
台湾の大学に留学予定生徒の紹介。意見交換会



(担当：高校教育課)

○オリンピック・パラリンピック教育「おもてなし講座」を開催

オリンピック・パラリンピック教育の一環として、筑波大学の江いずみ氏を講師にお招きし、「おもてなしの心」をテーマに、県内の希望する小・中・高等学校で「おもてなし講座」を実施した。

【概要】

日程・会場 ①平成28年11月30日（水）

東松島市立大曲小学校（3～5年生/140名）

大崎市立古川中学校（全年齢/580名）

②平成28年12月1日（木）

石巻市立渡波中学校（全年齢/320名）

宮城県気仙沼向洋高等学校（全年齢/340名）

③平成28年12月2日（金）

登米市立登米中学校（全年齢/140名）

石巻市立貞山小学校（6年生/40名）

講師 江上 いずみ氏（筑波大学客員教授）

演題 「おもてなしの心と異文化理解

～2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて～」



(担当：スポーツ健康課)

1 3

〇みやぎアスリート2020指定証交付式を開催

2020年に開催される「東京オリンピック・パラリンピック」に向けた強化支援対策事業として実施される『みやぎアスリート2020』の「強化指定証交付式」を12/1(木)に開催し、当初指定選手32名のうち、14名が参加した。(指定選手は随時追加)

なお、本事業は東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から「参画プログラム」の認証を受けており、当日は組織委員会から「マーク贈呈」も行われた。

14

【概要】

開催日 平成28年12月1日(木)

事業概要

- ・2020年の東京オリ・パラの出場を目指す、宮城県ゆかりの選手を県民一体となって応援することを目的に、「みやぎアスリート2020」として指定する。
- ・指定された選手には、競技水準の向上や一部強化活動の支援を行うとともに、県民が選手を応援する態勢づくりを目指す。



(担当：スポーツ健康課)

〇みやぎ総文2017プレ大会(書道, 弁論部門)を開催

平成29年夏に宮城で初めて開催される「第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017)」の書道と弁論部門について、本番を想定したプレ大会を開催した。

【概要】

① 書道部門

日程：平成28年12月6日(火)～11日(日)

会場：宮城県美術館県民ギャラリー

内容：県内高校生の入賞作品275点を展示

② 弁論部門

日程：平成28年12月9日(金)・10日(土)

会場：東松島市コミュニケーションセンター

内容：県内高校生15名が、日頃の思いや主張を7分間の時間に込めて熟弁を振るう。

15



(担当：全国高校総合文化祭推進室)

16 ○宮城県工業高等学校で、クラフトマン21事業を活用した「企業による出張講義」
公開授業を実施

企業研修等で実施している「能動的な学習スタイル」を授業に取り入れることで、工業高校で学ぶ生徒が主体的・能動的に学ぶ力を育成することを目的に、「企業による出張講座」公開授業を実施した。

【概要】

日程 平成28年12月6日（火）

会場 宮城県工業高等学校

テーマ 「空間認識センサを使った実践的ソフトウェアの開発」

講師：(株)日立ソリューションズ東日本 公共ソリューション本部

授業内容 成果物の展示説明等，成果発表会

参加者 工業高等学校 情報技術科3年 38名



(担当：高校教育課)

17 ○「はばたけ世界へ 南東北総体2017 プレイベント」を開催

平成29年の夏に山形、宮城、福島の南東北三県で開催される全国高等学校総合体育大会（インターハイ）のPRを目的に、山形市においてプレイベントを開催した。

【概要】

開催日時 平成28年12月11日（日） 午前10時から午後3時まで

開催場所 山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング（山形県山形市平久保100）

主催 平成29年度全国高等学校総合体育大会山形県実行委員会

共催 平成29年度全国高等学校総合体育大会宮城県実行委員会

平成29年度全国高等学校総合体育大会福島県実行委員会

内容 (1) ステージ

- ・ カウントダウンボード除幕式 ・ 友情の花の種の伝達式
- ・ 高校生によるステージパフォーマンズ（チアダンス，和太鼓演奏など）
- ・ 各県開催の競技種目別大会紹介

<ゲストトーク>

リオデジャネイロオリンピック4×100mリレーメダリスト

ケンブリッジ飛鳥 選手

(2) 出展ブース

- ・ 高校生活動紹介 ・ 飲食，販売 ・ 展示，体験 他



(担当：全国高校総体推進室)

○「交通遺児等教育手当」へ寄附が行われました。

東北楽天ゴールデンイーグルス関係者を含む経済人有志の方々から交通事故等により親を亡くした子どもたちへの支援として、県への寄附が行われた。

【概要】

期 日 平成28年12月13日（火）

場 所 県庁4階 庁議室

寄付額 163万3千円

寄付者 交通遺児孤児支援チャリティ実行委員会
(来訪メンバー)

平石洋介氏（東北楽天ゴールデンイーグルス二軍監督）

柘田慎太郎氏（東北楽天ゴールデンイーグルス選手）

伊藤英実氏（日本洋瓦商事株式会社代表取締役）

佐藤文彦氏（株式会社丸文代表取締役）

庄子裕介氏（株式会社米庄代表取締役）

丹野篤氏（丹野皮膚科内科小児科医院事務長）

佐々木幸士氏（宮城県議会議員）

※「交通遺児等教育手当」とは

交通事故及び海難事故による遺児を養育する世帯を支援するため、昭和49年に制定された教育手当（遺児一人につき月額3,000円を支給、寄附が多く寄せられた場合は一時金を支給）。

平成28年6月1日現在、37世帯50名が受給。

寄附金は継続的に受入している。



左から柘田選手・山田副知事・平石二軍監督

(担当：スポーツ健康課)

ピエール=オーギュスト・ルノワール Pierre-Auguste Renoir
《バレリーナ》 The Dancer
1874年 142.5×94.5cm 油彩・キャンバス
ワシントン・ナショナル・ギャラリー National Gallery of Art, Washington
Widener Collection 1942.9.72
Courtesy National Gallery of Art, Washington

資料配付 (4)

IMAGE OF
Pierre-Auguste
Renoir



ルノワール展

2017年1月14日[土]—4月16日[日] 開館時間 9:30~17:00(発券は16:30まで)
休館日:月曜日(ただし3月20日(月)は開館)、3月21日(火)

河北新報 創刊120周年記念
TBC東北放送 開局65周年記念

主催/宮城県美術館、河北新報社、TBC東北放送 特別協賛/杜の都信用金庫 協賛/サン・ペンディング東北、富士通
後援/仙台市教育委員会、NHK仙台放送局、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、エフエム仙台、IBC岩手放送、テレビユー山形、テレビユー福島 企画/財団ハタステファニング

宮城県美術館
THE MIYAGI MUSEUM OF ART

明るい陽光のなかで、あどけない表情を浮かべる少女。あるいは、柔らかな光のなかで、静かに読書する女性。これらのイメージには、ひとかけらの悩みもなく、画面の隅々まで幸せな情感に満たされています。このことが、ルノワールが多くの人々に愛され続ける理由ではないでしょうか。ルノワールが幸福感に満たされた絵を描いた背景には、楽しい主題だけが楽しい絵画を生み出すという確信があったからだといわれています。

今ではルノワールの描き出す光り輝く表現に、私たちは無条件に心地よさを感じますが、当時の美術界ではなかなか受け入れられず、厳しい評価にさらされました。私たちが親しんでいるルノワールのやさしい表現は、実は絵画における革命でもあったのです。

本展覧会では、ルノワールがその才能と絵画の革命を一気に花開かせたいわゆる『第1回印象派展』出品の代表作、『バレリーナ』(ワシントン・ナショナル・ギャラリー蔵)をはじめ、初期の印象派展の時代から、後期の無邪気にたわむれる明るい裸婦像まで、国内外の作品を展示し、ルノワールの魅力をあますところなくご紹介します。



1.《二人の浴女》1918-19年、油彩・キャンバス、41×38cm
シュターツギャラリー(シュトゥットガルト美術館)蔵



4.《ポール・ムニエの肖像》1877年頃
油彩・キャンバス、46×38cm、ラングマット美術館蔵



2.《小さな棧敷席》1873-74年頃
油彩・キャンバス、27×20.7cm、ラングマット美術館蔵



5.《ヴィクトル・ショク夫人》1875年、油彩・キャンバス、75×60cm
シュターツギャラリー(シュトゥットガルト美術館)蔵



3.《ボート》1878年頃
油彩・キャンバス、54.5×65.5cm、ラングマット美術館蔵

1. Auguste Renoir, Zwei Badende, 1918-19, Staatsgalerie Stuttgart, Inv.Nr. 2566
Foto ©bpl/Staatsgalerie Stuttgart/distributed by AMF
2. La petite Loge, Museum Langmatt, Langmatt Foundation,
Sidney and Jenny Brown, Baden, Switzerland
3. La barque, Museum Langmatt, Langmatt Foundation,
Sidney and Jenny Brown, Baden, Switzerland
4. Portrait de Paul Meunier, Murer fils, Museum Langmatt,
Langmatt Foundation, Sidney and Jenny Brown, Baden, Switzerland
5. Auguste Renoir, Madame Victor Choquet, 1875, Staatsgalerie Stuttgart, Inv.Nr. 2564
Foto ©bpl/Staatsgalerie Stuttgart/distributed by AMF

関連事業

●講演会「ルノワール その魅力と評価」

講師：高橋明也氏(三菱一号館美術館館長)
日時：2017年3月4日(土) 午後2時～(90分程度)
会場：宮城県美術館講堂

●まちなか美術講座「ルノワールの人物表現について」

講師：濱崎礼二(当館学芸員)
日時：2017年1月28日(土) 午後1時30分～午後3時
会場：東北工業大学一番町ロビー 2階ホール
(仙台市青葉区一番町1-3-1 TMビル)

●学芸員による展示解説

日時：1月21日(土)、2月18日(土)、4月1日(土)
各日とも午後2時～
会場：宮城県美術館講堂

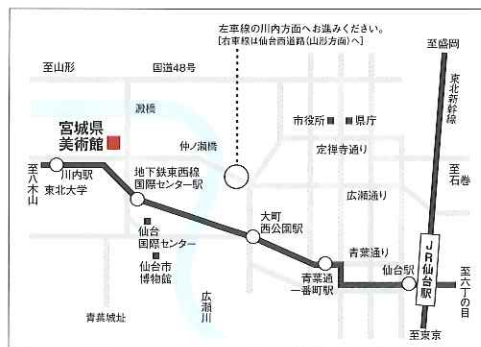
観覧料(円)	一般	学生	小・中・高校生
当日	1,500	1,300	750
前売・団体(20名以上)	1,300	1,100	600

前売券販売所(2016年11月4日～2017年1月13日までの販売)：宮城県美術館、藤崎、仙台三越、さくら野百貨店仙台店、ローソンチケット(Lコード:22203)、セブンチケット、チケットぴあ(Pコード:767-974)、イープラス、日専連カウター アエル店、ニッセンレン・テラス セルバ店、河北新報販売店、TBCホームページ、宮城県庁1階売店、みやぎ生協共同購入部、コープふくしま共同購入部

当日券販売所：宮城県美術館、ローソンチケット、セブンチケット、チケットぴあ、イープラス

交通案内 ※駐車場に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

1. 市営地下鉄利用の場合：東西線国際センター駅西1出口から右(北)へ徒歩7分、川内駅北1出口から右(東)へ徒歩7分
2. バス利用の場合：仙台駅西口バスプール15番乗り場から「市営バス川内営業所前行」もしくは「(広瀬通経由)交通公園循環」に乗り、「二高・宮城県美術館前」下車、徒歩3分
3. るーぶる仙台バスの場合：宮城県美術館前下車
4. タクシー利用の場合：仙台駅から約10分
5. 高速道路利用の場合：東北自動車道・仙台宮城I.C.より仙台方面(仙台西道路)に入り、仙台城址方面を經由して美術館へ(仙台宮城I.C.より約15分)



次回の展覧会予告 「コレクション再発見」展 2017年4月29日(土)～7月17日(月・祝)

宮城県美術館 THE MIYAGI MUSEUM OF ART

〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1 Tel:022-221-2111
http://www.pref.miyagi.jp/site/mnmoa/
https://twitter.com/miyagi_bijutu

資料配付 (5)

積層合板による
人工木目の
調味料入れ



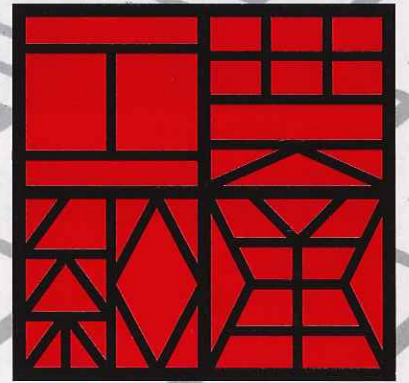
4色の組み合わせ
宝石箱



仙台筆筒を
モチーフにした木箱



非円形
るくるで
作った鉢



特別展

2017年1/14[土]-2/26[日]

開館時間 午前9時30分～午後5時(発券は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日

観覧料 無料(常設展観覧料でご覧いただけます。)

常設展観覧料:一般400円(320円)、高校生以下無料

※カッコ内は20名以上の団体

主催:東北歴史博物館

共催:河北新報社

後援:産総研 | 東北センター / 多賀城市 / 多賀城市教育委員会 / 多賀城市観光協会 /
多賀城・七ヶ浜商工会 / NHK仙台放送局 / TBC東北放送 / 仙台放送 / KHB東日本放送 /
MYギョテレビ / 朝日新聞仙台総局 / 毎日新聞仙台支局 / 読売新聞東北総局 /
産経新聞社東北総局 / エフエム仙台 / 宮城ケーブルテレビ

東北歴史博物館
TOHOKU HISTORY MUSEUM

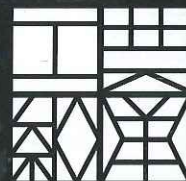
JR東北本線国府多賀城駅となり / 三陸自動車道「多賀城IC」から車で約5分

平成28年度
文化庁地域の核となる
美術館・歴史博物館支援事業



現在から捉え直す国立工芸指導所

工芸継承



特別展

現在から捉え直す 国立工芸指導所

工芸継承



工芸指導所正面玄関での記念写真 中央にブルーノ・タウト

昭和3年に宮城県仙台市に置かれた国立工芸指導所は、工芸の近代化、産業化の推進と東北地方の工芸の発展を目的に活動を行っていました。また、ブルーノ・タウトやシャルロット・ペリアンを招聘し指導を受けるなど、世界の先端に触れながら技術開発を進めました。出身者には剣持勇、豊口克平などが知られ、工芸界、デザイン界をリードする組織として、昭和40年代まで活動を続けました。



シャルロット・ペリアンを囲んで

この工芸指導所ゆかりの試作品を紹介する本展では、宮城県で活動する若手職人やデザイン・工芸に関心を持つ学生たちとのワークショップを通して、彼らの視点から工芸指導所の試作品を捉え直す試みをしました。そして、試作品にインスピレーションを得て製作した作品から、暮らしを豊かにする現在の工芸品も考えてみました。工芸指導所の置かれた仙台・宮城の地で、これまでの工芸、これからの工芸を考えてみたいと思います。

関連行事

□ 展示解説会

- 特別展示室(観覧チケットが必要です。)
- 毎週日曜日、祝日 午前11時～
- ワークショップメンバー(当館職員、学生、職人)による展示解説を行います。

□ 職人による実演・ワークショップ

- 展示室ロビー
- 期間中5回開催 午後12時30分～14時30分

1月22日(日)	漆芸家による漆塗り実演
1月29日(日)	家具職人による作業実演
2月11日(土・祝)	漆作家による漆塗りワークショップ
2月19日(日)	木工芸家によるクラフトワークショップ
2月26日(日)	仙台箆箆職人による塗装実演

※内容が変更になる場合があります。



木ベラを使って下地塗りに取り組む学生



職人の工房で打ち合わせ



漆の下地塗りに取り組む学生



試作品をみながらのワークショップ



モックアップをみながら職人と打ち合わせ

次回の
展覧会

特別展「世界遺産 ラスコー展
クロマニヨン人が残した洞窟壁画」
2017年3月25日(土)～5月28日(日)

東北歴史博物館 TOHOKU HISTORY MUSEUM

〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1
TEL 022-368-0101(代) FAX 022-368-0103(代)
Email: thm-service@pref.miyagi.jp

お問い合わせ専用番号

TEL.022-368-0106

東北歴博

検索



JR線をご利用の方

- 仙台駅から14分、JR東北本線「国府多賀城駅」となり
- JR仙石線「多賀城駅」下車 徒歩25分またはタクシー約10分

お車をご利用の方

- 三陸自動車道「多賀城IC」から車で約5分
- 国道4号線苦竹インターから国道45号線を塩釜方向に8km(約25分)
- 仙台港フリーターミナルから15分
- 無料駐車場(191台・大型バス10台)

この印刷物は再生紙を使用しています。

